単元のねらい	観点別評価		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
化学変化を原子や分子のモデルと関連付けながら、物質の成り立ちおよび化学変化、化学変化と物質の質量のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を	化学変化を原子や分子のモデルと関連付けながら、物質の成り立ち、化学変化、化学変化と物質の質量を理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。	化学変化について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、原子や分子と関連付けてその結果を分析して解釈し、化学変化における物質の変化やその量的な関係を見いだして表現している。	化学変化と原子・分子に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

章のねらい	観点別評価		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 物質を分解する実験を行い、分解して生成した物質は元の物質とは異なることを見いだして理解する。 物質は原子や分子からできていることを理解するとともに、物質を構成する原子の種類 	化学変化を原子や分子のモデルと関連付けながら、物質の分解、原子・分子についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	物質の成り立ちについて、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、原子や分子と関連付けてその結果を分析して解釈し、化学変化における物質の変化を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。	物質の成り立ちに関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

時数	項目 <項の目標>	観点別評価			
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
1 熱による分解 A 酸化銀の分解 B 炭酸水素ナトリウムの熱分解 ◆1分野(4)ア(ア)㊦, イ <物質を熱によって分解する実験を行い、1種類の物質から2種類以上のもとの物質とは異なる物質が生成することを見いだす>	規 準	<ul style="list-style-type: none"> 物質が熱分解して生成した物質がもとの物質とは異なることを理解し、知識を身に付けている。 物質を熱分解し、化学変化の前後の物質の性質を比べる実験の技能を習得するとともに、結果の記録や整理などのしかたを身に付けている。 実験装置を安全に配慮して組み立てることができてい 	★物質が熱分解して生成した物質がもとの物質とは異なることについて、自らの考えを導いたりまとめたりして、表現している。	・物質が熱分解してできる物質について問題を見いだし、加熱前後の物質の性質を探究しようとするとともに、日常生活と関連付けて考えようとしている。	
		方法	レポート、ペーパーテスト	行動観察、レポート、ペーパーテスト	行動観察、レポート、質問紙
		A基準	<ul style="list-style-type: none"> 熱分解や、生成した物質ともとの物質とのちがいについて、自らの考えを導いたりまとめたりしている。 熱分解の実験を安全に正しく行い、適切な結果の記録やわかりやすい整理ができています。 	・実験結果から、生成した物質ともとの物質が異なることについて、根拠を示して自らの考えを導いたりまとめたりして、表現している。	・身のまわりの化学変化に強い興味を示し、周囲と協力しながら炭酸水素ナトリウムの熱分解の実験を進んで行っている。
		B基準	<ul style="list-style-type: none"> 熱分解について理解している。 熱分解の実験を行い、結果の記録や整理ができてい 	・生成した物質ともとの物質が異なることについて、自らの考えもち、表現している。	・炭酸水素ナトリウムの分解の実験に興味を示している。
2 電気による分解 ◆1分野(4)ア(ア)㊦, イ <電流を流すことによって物質を分解する実験を行い、1種類の物質から2種類以上のもとの物質とは異なる物質が生成することを見いだす>	規 準	<ul style="list-style-type: none"> ★電気によって水を分解して生成した物質がもとの物質とは異なることを理解し、知識を身に付けている。 ★電気によって水を分解する装置を組み立て、化学変化の前後の物質の性質を調べる実験の技能を習得するとともに、結果の記録や整理などのしかたを身に付けてい 	・電気によって水を分解することにより集めた気体の性質を比べる実験結果から、生成した物質がもとの物質とは異なることについて、自らの考えを導いたりまとめたりして、表現している。	・電気による水の分解の学習に進んで関わり、分解すると何ができるか調べようとしている。	
		方法	レポート、ペーパーテスト	レポート、ペーパーテスト	行動観察、レポート
		A基準	<ul style="list-style-type: none"> 電気による水の分解について理解し、性質の異なる別の物質が生成するなどの具体例をあげて説明できている。 電気による水の分解の実験を安全に正しく行い、適切 	・実験結果から、分解して生成した物質がもとの物質とは異なることについて、科学的に自らの考えを導いたりまとめたりして、表現している。	・1年で学習した気体や状態変化の学習を思い出ししながら、水を分解すると何ができるかについて、進んで考えている。
		B基準	<ul style="list-style-type: none"> 電気による水の分解について理解している。 電気による水の分解の実験を行い、結果の記録や整理ができてい 	・実験結果から、分解して生成した物質がもとの物質とは異なることについて、自らの考えをもち、表現している。	・水が分解することに興味を示している。
3 物質をつくっているもの A 原子 B 分子 C 化学式 D 単体と化合物 ◆1分野(4)ア(ア)㊦, イ ◆1分野(4)ア(イ)㊦, イ <物質は原子や分子からできていること、化合物の組成は化学式で表されることを理解する。また、物質を構成する原子の種類は記号で表されることを知る。>	規 準	<ul style="list-style-type: none"> ★物質は原子や分子が構成要素であること、原子は記号で表されることなどについて基本的な概念を理解し、知識を身に付けている。 ★化学式は化合物の組成を表していることを理解するとともに、元素記号や化学式を正しく書くことなどについて基本的な概念を理解し、知識を身に付けている。 	・物質は原子や分子からできていることについて、自らの考えを導いたりまとめたりして、表現している。 ・化学式から、物質を構成する原子の種類と数を考察することについて、自らの考えを導いたりまとめたりして、表現している。	・物質のつくりに関心をもち、物質を微視的に見ようとしている。 ・物質を書き表す便利な方法に関心をもち、いろいろな物質を元素記号や化学式で表そうとしている。	
		方法	ワークシート、ペーパーテスト	ワークシート、ペーパーテスト	行動観察、ワークシート
		A基準	<ul style="list-style-type: none"> 原子・分子について理解し、いくつかの化学式から物質のつくりを、単体と化合物などの具体例をあげて説明できている。 化学式は化合物の組成を表していることを理解し、モデルと関連させながら、物質を化学式で表している。 	・化合物の組成について、粒子モデルを用いて、自らの考えを導いたりまとめたりして、化学式で表現している。 ・これまでに学習した物質について、物質を構成する原子の種類と数を考察し、自らの考えを導いたりまとめたりした。	・目には見えない原子や分子について、粒子モデルを用いて、分子がどのようにできているか、進んで考えている。 ・いろいろな物質を原子や分子のモデルや化学式で表したり、化学式に強い興味をもち、意欲の高まりが十分に
		B基準	<ul style="list-style-type: none"> 原子・分子やいくつかの化学式について理解している。 物質を化学式で表している。 	・化合物の組成について、化学式で表現している。 ・教科書にある化学式から、物質を構成する原子の種類と数について、考えをまとめ、表現している。	・目には見えない原子や分子について、興味を示している。 ・いろいろな物質を原子や分子のモデルや化学式で表す
4 化学反応式 ◆1分野(4)ア(イ)㊦, イ <化学変化は原子や分子のモデルで説明できることを理解する。また、化学変化は化学反応式で表されることを理解する。>	規 準	・化学変化は化学反応式で表せることを理解し、知識を身に付けている。	★化学反応式から、化学変化に関係のある原子や分子の種類と数を考察し、自らの考えを導いたりまとめたりして、表現している。	・化学変化を化学反応式で表すことについて関心をもち、いろいろな化学変化を化学反応式で表そうとしている。	
		方法	ワークシート、ペーパーテスト	ワークシート、ペーパーテスト	行動観察、ワークシート
		A基準	・原子や分子のモデルと関連させながら、化学変化を化学反応式で表している。	・例にとどまらず以前に学習した化学変化から化学反応式をつくり、化学変化に関係のある原子や分子の種類と数を考察し、自らの考えを導いたりまとめたりして、表	・電気による水の分解について、原子や分子のモデルを用いて表せることやその変化が状態変化とは異なることに強い興味をもち、意欲の高まりが十分に見てとれる。
		B基準	・化学変化を化学反応式で表している。	・教科書にある化学反応式から、化学変化に関係のある原子や分子の種類と数を考察し、自らの考えをまとめ、表現している。	・電気による水の分解について、原子や分子のモデルで表そうとしている。

方法…評価方法 A基準(十分満足できる。) B基準(おおむね満足できる。) ★…重点評価項目

章のねらい	観点別評価		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・2種類の物質を反応させる実験を行い、反応前とは異なる物質が生成することを見いだして理解するとともに、化学変化は原子や分子のモデルで説明できること、化合物の組成は化学式で表されることおよび化学変化は化	化学変化を原子や分子のモデルと関連付けながら、化学変化、化学変化における酸化と還元についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	化学変化について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、原子や分子と関連付けてその結果を分析して解釈し、化学変化における物質の変化を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。	化学変化に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

時 数	項目 〈項の目標〉	観点別評価例		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 酸素と結びつく化学変化—酸化 A 有機物の燃焼 B 金属の燃焼 C 穏やかな酸化 ◆1分野(4)ア(イ)㊲, イ 〈酸化が酸素の関係する化学変化であることを見いだして理解する〉	規 準	★酸化について基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。 ★金属を酸化させる実験の技能を習得するとともに、結果の記録や整理のしかたを身に付けている。	★金属が燃えるかどうかについて、問題を見いだしている。 ★酸化が酸素の関係する化学変化であることについて、原子・分子のモデルと関連付け、自らの考えを導いたりまとめたりして、表現している。 ★酸化には、激しい酸化と穏やかな酸化があることにつ	・物質が燃えるときの物質の変化について問題を見だし、酸化に関するさまざまな事象を探究しようとするとともに、日常生活と関連付けて考えようとしている。
	方 法	ワークシート、ペーパーテスト	行動観察、ワークシート、ペーパーテスト	行動観察、ワークシート、レポート、質問紙
	A 基 準	・さまざまな物質の燃焼や酸化について、具体例をあげて説明できている。 ・金属を酸化させる実験を安全に正しく行い、適切な結果の記録やわかりやすい整理ができている。	・さまざまな酸化の例を酸素の関係する化学変化として、原子や分子のモデルと関連付け、化学反応式で表現したり、自らの考えを導いたりまとめたりして、表現している。	・鉄が酸化すると何ができるかについて、有機物の酸化と関連付けながら、進んで考えている。
	B 基 準	・酸化について説明できる。 ・金属を酸化させる実験を行い、結果の記録や整理ができている。	・酸化を原子や分子のモデルと関連させながら化学反応式で表現している。	・鉄が酸化すると何ができるかに興味を示している。
2 酸素を失う化学変化—還元 ◆1分野(4)ア(イ)㊲, イ 〈還元の実験を行い、還元が酸素の関係する化学変化であることを見いだす〉	規 準	・還元について基本的な概念や原理、法則を理解するとともに、酸化と還元が酸素をやりとりする反対の化学変化であることを理解し、知識を身に付けている。 ・金属の酸化物を還元して生成する物質を調べる実験の技能を習得するとともに、結果の記録や整理などのしかたを身に付けている。	★還元が酸素の関係する化学変化であることについて原子や分子のモデルと関連付け、自らの考えを導いたりまとめたりして、表現している。	・酸化物から金属をとり出すことに興味をもち、金属をとり出す方法について探究しようとするとともに、日常生活と関連付けて考えようとしている。
	方 法	レポート、ペーパーテスト	レポート、ペーパーテスト	行動観察、レポート
	A 基 準	・還元だけでなく、酸化と還元の関係や、さまざまな化学変化について、具体例をあげて説明できている。 ・酸化銅を還元する実験を安全に正しく行い、適切な結果の記録やわかりやすい整理ができている。	・酸化銅の還元実験の結果から、還元が酸化とは反対の化学変化であることについて、原子や分子のモデルと関連付け、自らの考えを導いたりまとめたりして、表現している。	・酸化銅から銅をとり出せることに強い興味をもち、周囲に聞いたり資料を調べたりして、その理由を進んで考えている。
	B 基 準	・還元について理解している。 ・酸化銅から銅をとり出せることに興味を示している。	・酸化銅の還元実験の結果を、原子や分子のモデルで表現している。	・酸化銅から銅をとり出せることに興味を示している。
3 硫黄と結びつく化学変化 ◆1分野(4)ア(イ)㊲, イ 〈2種類の物質を反応させる実験を行い、反応前とは異なる物質が生成することを見いだす〉	規 準	★2種類の物質同士が結びつく化学変化によって、化学変化の前とは異なる物質が生成することについて、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。 ★2種類の物質同士が結びつく化学変化を起こし、化学変化の前後の物質の性質のちがいを比較する実験の技能を習得するとともに、結果の記録や整理などのしかたを	・加熱したときのようすや、加熱前後の物質の性質の変化から、もとの物質とは異なる物質が生成していることについて、自らの考えを導いたりまとめたりして、表現している。	★物質を加熱したとき、2種類の物質から1種類の物質ができることに興味をもち、加熱前後の物質の性質を探究しようとしている。
	方 法	レポート、ペーパーテスト	レポート、ペーパーテスト	行動観察、レポート、質問紙
	A 基 準	・物質同士が結びつく化学変化や、酸化、還元、分解などについて、具体例をあげて説明できている。 ・鉄と硫黄が結びつく反応の実験を安全に正しく行い、適切な結果の記録やわかりやすい整理ができている。	・実験結果から、鉄と硫黄の混合物を加熱するともとの物質とは異なる物質ができることについて、自らの考えを導いたりまとめたりして、表現している。	・鉄や硫黄のそれぞれの性質に注目して、加熱したときの変化に強い興味をもち、自ら進んで実験結果を予想している。
	B 基 準	・鉄と硫黄が結びつく化学変化について理解している。 ・鉄と硫黄が結びつく化学変化の実験を行い、結果の記録や整理ができている。	・鉄と硫黄の混合物を加熱すると、もとの物質とは異なる物質ができることを表現している。	・鉄と硫黄を加熱したときの変化に興味を示している。

方法…評価方法 A基準(十分満足できる。) B基準(おおむね満足できる。) ★…重点評価項目

章のねらい	観点別評価		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・化学変化によって熱をとり出す実験を行い、化学変化には熱の出入りがともなうことを見いだして理解する。	化学変化と熱についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	化学変化と熱について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、原子や分子と関連付けてその結果を分析して解釈し、化学変化における物質の変化を見いだして表現しているなど、科学的に探究し	化学変化と熱に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

参考：国立教育政策研究所『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料』

時 類	項目 〈項の目標〉	観点別評価例		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 熱を発生する化学変化 2 熱を吸収する化学変化 ◆1分野(4)ア(イ)㊦, イ 〈化学変化によって熱を発生する実験を行い、化学変化には熱エネルギーの出入りがともなうことを見いだす。また、化学変化によって熱を吸収する実験を行い、化学変化には熱エネルギーの出入りがともなうことを見いだす。〉	規 準	★化学変化には熱の出入りがともなうことを理解し、知識を身に付けている。 ★化学変化によって熱をとり出す実験の技能を習得するとともに、結果の記録や整理などのしかたを身に付けてレポート、ペーパーテスト	・実験の結果から、化学変化にともなう熱の出入りなどについて、自らの考えを導いたりまとめたりして、表現している。	・化学変化と熱の学習に進んで関わり、それらを科学的に探究しようとするとともに、事象と日常生活と関連付けて考えようとしている。
	方 法	レポート、ペーパーテスト	レポート、ペーパーテスト	行動観察、レポート、質問紙
	A 基 準	・化学変化には熱の出入りがともなうことを理解し、複数の例をあげて説明できている。 ・化学変化によって熱をとり出す実験を安全に正しく行い、適切な結果の記録や誤差を考慮したわかりやすい整理ができています。	・実験の結果から、化学変化によって熱がどのようになったかについて、自らの考えを導いたりまとめたりして、表現している。	・身のまわりの化学変化による熱の利用に強い興味をもち、具体的な日常生活の例をあげて進んで調べている。
	B 基 準	・化学変化には熱の出入りがともなうことを理解している。 ・化学変化によって熱をとり出す実験を行い、結果の記	・化学変化によって熱がどのようになったかについて表現している。	・身のまわりの化学変化による熱の利用に興味を示している。

◆学習指導要領の内容

方法…評価方法 A基準(十分満足できる。) B基準(おおむね満足できる。) 支援…基準に達しない場合の支援 ★…重点評価項目

章のねらい	観点別評価		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・化学変化の前後における物質の質量を測定する実験を行い、反応物の質量の総和と生成物の質量の総和が等しいことを見いだして理解する。 ・化学変化に関係する物質の質量を測定する	化学変化を原子や分子のモデルと関連付けながら、化学変化と質量の保存、質量変化の規則性についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	化学変化と物質の質量について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、原子や分子と関連付けてその結果を分析して解釈し、化学変化における物質の変化やその量的な関係を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。	化学変化と物質の質量に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

項目 〈項の目標〉	観点別評価例			
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
1 質量保存の法則 ◆1分野(4)ア(ウ)㉞, イ 〈化学変化に関係する物質の質量を測定する実験を行い、化学変化の前後では物質の質量の総和が等しいことを見いだして理解する〉	規準	★化学変化の前後で物質の質量の総和が等しいことについて基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。 ★化学変化の前後の質量を測定する実験の技能を習得するとともに、結果の記録や整理などのしかたを身に付けている。	★化学変化の前後で質量が増えたり減ったりする例から、原子や分子のモデルと関連付けて、化学変化の前後の物質の質量について問題を見いだして、課題を設定している。 ★化学変化の前後で物質の質量がどのようになるかを測定する実験の方法について、自らの考えを導いたりまとめたりして、見通しをもって計画している。 ★化学変化に関係する物質の質量を測定する実験の結果から、反応物の質量の総和と生成物の質量の総和が等しいことについて、原子や分子のモデルと関連付けて、自	・化学変化が起こるときに物質の質量が保存される現象についての学習に進んでとり組み、それらを科学的に探究しようとするとともに、事象と日常生活を関連付けて考えようとしている。
	方法	レポート、ペーパーテスト	行動観察、レポート、ペーパーテスト	行動観察、レポート
	A基準	・化学変化の前後で物質の質量の総和が等しいことを、原子や分子のモデルと関連付けながら正確に理解し、知識を身に付けている。 ・化学変化の前後の質量を測定する実験を安全に正しく行い、適切な結果の記録や誤差を考慮したわかりやすい整理ができる。	・化学変化の前後で質量が増えたり減ったりする例から、原子や分子のモデルと関連付けて、化学変化の前後の物質の質量について問題を見いだして、課題を設定している。 ・化学変化の前後で物質の質量がどのようになるかを測定する実験の方法について、自らの考えを導いたりまとめたりして、見通しをもって計画している。 ・実験の結果から、化学変化の前後で物質の質量が変わらないことについて、原子や分子のモデルと関連付け	・化学変化の前後の質量を測定する実験の結果をふまえて、その質量変化について強い興味をもち、進んで話し合いを進めている。
	B基準	・化学変化の前後で物質の質量の総和が等しいことについて理解し、知識を身に付けている。 ・閉鎖系と開放系の両方の実験を行い、結果の記録や整理ができる。	・化学変化の前後で質量が増えたり減ったりする例から、化学変化の前後の物質の質量について問題を見いだして、課題を設定している。 ・化学変化の前後で物質の質量がどのようになるかを測定する実験の方法について、見通しをもって計画している。 ・化学変化の前後で物質の質量が変わらないことを表現	・化学変化の前後の物質の質量について興味を示している。
2 反応する物質の質量の割合 ◆1分野(4)ア(ウ)㉟, イ 〈反応に関係する物質の質量を測定する実験を行い、互いに反応する物質の質量の間には一定の関係があることを見いだして理解する〉	規準	・反応する物質の質量の間には一定の関係があることについて基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。 ・金属を酸化させたときの質量の変化を測定する実験の技能を習得するとともに、結果の記録や整理などのしかたを身に付けている。	★反応に関係する物質の質量の間にはどのような関係があるかを調べる実験について、原子や分子のモデルと関連付けて、見通しをもって計画している。 ★化学変化にともなう質量の変化の結果から、反応する物質の質量の間には一定の関係があることについて原子や分子のモデルと関連付けて分析して解釈し、自らの考えを導いたりまとめたりして、表現している。	★反応に関係する物質の質量の間にはどのような関係があるかを調べる学習に進んでとり組み、それらを科学的に探究しようとするとともに、事象と日常生活を関連付けて考えようとしている。 ★一定の質量の物質に反応する他方の物質の質量には限度があるかどうかについて、習得した知識や技能を活用して説明しようとしている。
	方法	レポート、ペーパーテスト	行動観察、レポート、ペーパーテスト	行動観察、レポート
	A基準	・実験結果のグラフをもとに、反応する物質の質量の間には一定の関係があることを具体的に説明できている。 ・銅を酸化させる実験を安全に正しく行い、適切な結果の記録や誤差を考慮したわかりやすい整理ができている。	・銅を加熱したときの質量の変化を調べる実験について、原子や分子のモデルと関連付けて、見通しをもって計画している。 ・実験の結果から、反応する物質の質量の間には一定の関係があることについて、根拠を示して自らの考えを導いたりまとめたりして、表現している。	・加熱前の銅の質量と反応した酸素の質量を測定する実験を行い、規則性を見いだそうと進んで話し合いをしている。 ・銅を加熱し続けると、生成する酸化銅の質量はどのように変化するか、習得した知識や技能を活用して、説明しようとしている。
	B基準	・反応する物質の質量の間には一定の関係があることを理解している。 ・銅を酸化させる実験を行い、結果の記録や整理ができる。	・銅を加熱したときの質量の変化を調べる実験について、見通しをもって計画している。 ・化学変化における物質の質量比が一定であることを表現している。	・加熱前の銅の質量と反応した酸素の質量の規則性に興味を示している。 ・銅を加熱し続けると、生成する酸化銅の質量はどのように変化するか、説明しようとしている。

去…評価方法 A基準(十分満足できる。)

B基準(おおむね満足できる。)

★…重点評価項目

方法…評価方法 A基準(十分満足できる。)

B基準(おおむね満足できる。)

★…重点評価項目

ねらい	観点別評価		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
化学変化を原子や分子のモデルと関連付けながら、物質のつくりや化学変化のようすを見いだして理解する。	化学変化を原子や分子のモデルと関連付けながら、化学変化、化学変化における酸化と還元についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	化学変化について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、原子や分子と関連付けてその結果を分析して解釈し、化学変化における物質の変化を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。	化学変化に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

時 類	項目 ＜項の目標＞	観点別評価		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
二酸化炭素の酸素を奪え ◆1分野（4）ア（ア）㉑、イ ◆1分野（4）ア（イ）㉒㉓、イ 〈化学変化は原子や分子のモデルで説明できること、化合物の組成は化学式で表されること、化学反応は化学反応式で表されることを理解する〉	規 準	<ul style="list-style-type: none"> 化学変化を原子や分子のモデルを用いて理解し、おもな化学変化を化学反応式を用いて説明することができる。 化学変化を化学反応式で表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 化学変化について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、原子や分子と関連付けてその結果を分析して解釈し、化学変化における物質の変化を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。 	<ul style="list-style-type: none"> 化学変化を原子・分子のモデルや化学反応式で表すことに興味をもち、今まで実験した化学変化をモデルでえたり化学反応式で表そうとしている。 自分の調べ方や考えを他者の考えを取り入れてまとめようとしている。
	方 法	ワークシート、ペーパーテスト	ワークシート、発表、ペーパーテスト	行動観察、ワークシート
	A 基 準	<ul style="list-style-type: none"> 実験結果が正しいかをふまえたうえで、調べた物質が何であるかを正しく推定している。 二酸化炭素中で燃えるマグネシウムの実験を安全に正しく行い、適切な結果の記録やわかりやすい整理ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 二酸化炭素から酸素を奪うことができるかどうか調べる実験について、習得した知識・技能を活用して、見通しをもって計画を立てている。 実験の結果を分析して解釈し、原子や分子のモデルと関連付けて、化学反応式で表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 二酸化炭素中で燃えるマグネシウムの実験について強い興味をもち、化学変化の仕組みについて進んで考え、進んで話し合いをしている。 自分の調べ方や考えを他者の考えを取り入れてまとめることで、学習の深まりを自覚している。
	B 基 準	<ul style="list-style-type: none"> 実験結果から、調べた物質が何であるかを類推している。 二酸化炭素中で燃えるマグネシウムの実験を行い、結果の記録や整理ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 二酸化炭素から酸素を奪うことができるかどうか調べる実験について、見通しをもって計画を立てている。 実験の結果を分析して解釈し、化学反応式で表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 二酸化炭素中で燃えるマグネシウムの実験について興味を示している。 自分の調べ方や考えを他者の考えを取り入れてまとめることで、学習内容が理解できたことを自覚している。
	支 援	<ul style="list-style-type: none"> 教科書p.73の結果を示し、実験結果を振り返らせる。 実験の意味を考えさせ、必要に応じて個別指導で実験方法を習得させる。 	<ul style="list-style-type: none"> この単元で学習した化学変化や、原子や分子のモデルについて確認させる。 わかりやすい説明になるよう工夫させる。また、わからないときには質問させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 教科書p.73の実験の図を示し、実験の方法について着目させる。

方法…評価方法 A基準（十分満足できる。） B基準（おおむね満足できる。） ★…重点評価項目